

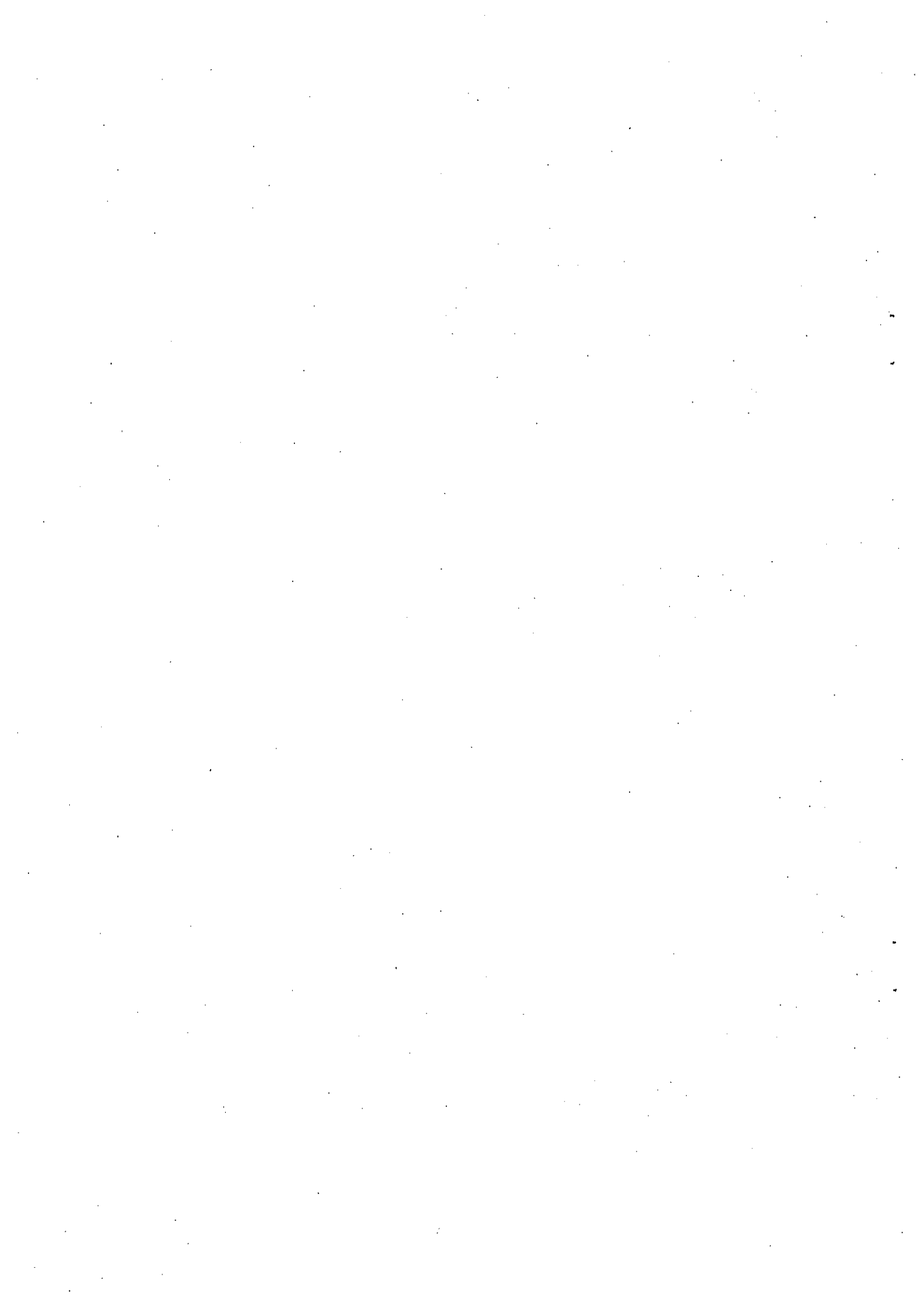
# 総務教育常任委員会資料

(平成28年10月7日)

## 【件名】

- ・ 平成28年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について（小中学校課） …… 1
- ・ 第9回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について（博物館） …… 40
- ・ 美術館の整備検討に関する県民意識調査（案）について（博物館） …… 別冊

教育委員会



# 平成28年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について

平成28年10月7日

小中学校課

平成28年4月19日に行いました全国学力・学習状況調査の調査結果が公表されましたので、鳥取県の結果について報告します。

## 1 調査について

本年度は、全数（悉皆）調査で実施した。

## 2 全体的な結果について

### (1) 各教科

調査結果(平均正答率)

[単位：%]

	国語A		国語B		算数・数学A		算数・数学B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
小学校6年	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2
中学校3年	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1

■国語は、小学校・中学校ともにA問題（主として知識に関する問題）及びB問題（主として活用に関する問題）すべてにおいて全国平均を上回った。

■算数・数学は、小学校のA問題で0.6ポイント、B問題で0.4ポイント下回った。中学校では、A問題、B問題とも全国平均を上回った。

### (2) 児童生徒質問紙

肯定的な回答の状況（項目数）

	全質問紙項目数	全国平均を5%以上上回る	全国平均を5%以上下回る	肯定的な回答割合が80%を超える
小学校6年	85	10	4	41
中学校3年	85	13	3	26

## 3 分析

### (1) 成果の見られる部分

■「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」、「学習内容を振り返る活動をよく行っている」「ノートに目標とまとめを書いていた」等に関して概ね肯定的回答が増え、言語活動や振り返り等が定着してきたことがうかがわれる。

### (2) 課題となる部分

■小学校算数において、知識・技能の定着に課題が見られることから、言語活動を充実させながら、知識や技能の定着が図られるような指導の工夫が必要である。

■「発表が得意か」「将来の夢や目標を持っていますか」などの回答が全国平均と比較して低く、依然として課題である。引き続き、主体的に取り組む児童生徒の育成と、自己肯定感や達成感を体得できる環境づくりが必要である。

## 4 取組

■今年度独自で抽出調査を行い、教科に関する調査における課題を明らかにし、市町村（学校組合）教育委員会とも連携しながら、課題解決に向けた取組を進めてきているところであり、これからも継続して取組を行っていく。

■現在、有識者・学校関係者等を交えたワーキンググループで具体的な分析を行っており、その結果に基づいた取組等についてリーフレットを作成し、11月中に全小中学校教員及び保護者に配布する。

### 【主な予定】

○学力向上に向けた説明会[10月下旬から11月]

市町村（学校組合）教育委員会指導主事等と小中学校教員を対象に、本県における学力・学習状況の傾向と課題について共通理解を図り、今後の各学校における学習指導の改善・充実に役立てるための説明会を開催する。

・10/21：市町村（学校組合）教育委員会指導主事等対象の説明会

・10/31、11/8、11/15：小中学校教員対象の説明会（東部・中部・西部での地区別開催）

○結果に基づいた取組等を示したリーフレットを全小中学校教員及び保護者に配布する。

[11月中の予定]

平成28年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取県の概要【資料】

平成28年10月7日  
小中学校課

1 実施状況

※4月19日に実施した全数調査（公立学校）の結果を集計

【小学校6年生】

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	質問紙
人数	4,817	4,814	4,817	4,813	4,813

【中学校3年生】

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	質問紙
人数	4,738	4,737	4,742	4,739	4,743

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科		調査方法
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	
H28	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2			悉皆
H27	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0	60.1	60.8	悉皆

国語

○国語A（主として知識）…15問

◆平均正答率・・・鳥取県 75.2%，全国 72.9%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は11問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は4問

《正答率が高かった主な問題》

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む（快晴）」問題  
(鳥取県 87.4%，全国 79.3%)

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く（そうだん）」問題  
(鳥取県 71.6%，全国 64.2%)

《正答率が低かった主な問題》

「ローマ字で表記されたものを正しく読む（hyaku）」問題  
(鳥取県 49.8%，全国 50.7%)

○国語B（主として活用）…10問

◆平均正答率・・・鳥取県 58.0%，全国 57.8%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は4問

《正答率が高かった主な問題》

「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」問題  
(鳥取県 52.4%，全国 50.4%)

「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する」問題  
(鳥取県 79.2%，全国 77.9%)

《正答率が低かった主な問題》

「目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く」問題

(鳥取県 62.3%, 全国 64.2%)

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」  
(鳥取県 66.9%, 全国 62.3%)
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」  
(鳥取県 71.4%, 全国 67.0%)
- ・「国語の勉強は好き」  
(鳥取県 62.5%, 全国 58.3%)
- ・「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」  
(鳥取県 78.8%, 全国 75.1%)

算 数

○算数A (主として知識) … 16問

◆平均正答率・・・鳥取県 77.0%, 全国 77.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 9 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 7 問

《正答率が高かった主な問題》

「示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表す」問題

(鳥取県 82.3%, 全国 80.2%)

「除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解する」問題

(鳥取県 69.2%, 全国 64.8%)

《正答率が低かった主な問題》

「1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解する」問題

(鳥取県 44.3%, 全国 50.9%)

○算数B (主として活用) … 13問

◆平均正答率・・・鳥取県 46.8%, 全国 47.2%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 5 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 8 問

《正答率が高かった主な問題》

「ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求める」問題

(鳥取県 58.1%, 全国 56.2%)

「単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定する」問題

(鳥取県 50.8%, 全国 48.3%)

《正答率が低かった主な問題》

「縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述する」問題

(鳥取県 33.8%, 全国 38.4%)

〔算数関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」  
(鳥取県 88.6%, 全国 84.8%)
- ・「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」  
(鳥取県 83.1%, 全国 81.0%)
- ・「今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」  
(鳥取県 74.9%, 全国 72.0%)

■全国平均より低い主なもの

- ・「算数の勉強は好き」 (鳥取県 61.6%, 全国 66.0%)
- ・「算数の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 77.4%, 全国 80.2%)

(2) 中学校3年生

【平均正答率】

[単位: %]

	国語A		国語B		数学A		数学B		理科		調査方法
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	
H28	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1			悉皆
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6	53.0	53.0	悉皆

国語

○国語A (主として知識) … 33問

◆平均正答率・・・鳥取県 76.7%, 全国 75.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は20問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は13問

《正答率が高かった主な問題》

「文脈に即して漢字を正しく読む(敬う)」問題

(鳥取県 88.4%, 全国 82.6%)

「文脈に即して漢字を正しく書く(ケンキュウ)」問題

(鳥取県 89.1%, 全国 83.5%)

《正答率が低かった主な問題》

「文章の構成や展開について自分の考えをもつ」問題

(鳥取県 65.6%, 全国 67.3%)

○国語B (主として活用) … 9問

◆平均正答率・・・鳥取県 67.1%, 全国 66.5%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は7問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は2問

《正答率が高かった主な問題》

「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」問題

(鳥取県 53.0%, 全国 49.2%)

「文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える」問題

(鳥取県 77.3%, 全国 76.2%)

《正答率が低かった主な問題》

「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」問題

(鳥取県 55.3%, 全国 57.7%)

〔国語関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「読書は好き」 (鳥取県 75.2%, 全国 69.9%)
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」 (鳥取県 65.4%, 全国 62.2%)
- ・「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」 (鳥取県 59.7%, 全国 56.7%)

■全国平均より低い主なもの

- ・「国語の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 72.2%, 全国 74.1%)
- ・「国語の勉強は好き」 (鳥取県 58.1%, 全国 59.8%)

**数 学**

○数学A (主として知識) … 36問

◆平均正答率・・・鳥取県 63.2%, 全国 62.2%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 24 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 12 問

《正答率が高かった主な問題》

- 「空間における直線と直線との位置関係 (辺と辺とがねじれの位置にあること) を理解する」問題 (鳥取県 80.7%, 全国 75.5%)
- 「簡単な場合について、確率を求める」問題 (鳥取県 81.5%, 全国 79.6%)

《正答率が低かった主な問題》

- 「「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解する」問題 (鳥取県 63.5%, 全国 66.0%)

○数学B (主として活用) … 15問

◆平均正答率・・・鳥取県 44.4%, 全国 44.1%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 11 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 4 問

《正答率が高かった主な問題》

- 「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理する」問題 (鳥取県 80.4%, 全国 79.3%)
- 「条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、x の値に対応する y の値を求める」問題 (鳥取県 61.1%, 全国 59.1%)

《正答率が低かった主な問題》

- 「適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する」問題 (鳥取県 50.1%, 全国 51.4%)

〔数学関係の質問紙〕

■全国平均より高い主なもの

- ・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」 (鳥取県 73.7%, 全国 71.5%)
- ・「数学の勉強は大切」 (鳥取県 81.4%, 全国 80.5%)
- ・「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」 (鳥取県 42.7%, 全国 41.9%)

■全国平均より低い主なもの

- ・「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」 (鳥取県 65.7%, 全国 69.0%)
- ・「数学の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 66.4%, 全国 69.4%)

3 質問紙調査の概要

※〔 〕内の数字は、質問番号

○小中共通〔5〕

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 79.1 %，全国 76.1 %

中学校 鳥取県 69.5 %，全国 69.6 %

○小中共通〔9〕

「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 83.5 %，全国 85.3 %

中学校 鳥取県 70.3 %，全国 71.1 %

○小中共通〔14〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「2時間以上」という回答

小学校 鳥取県 20.1 %，全国 25.5 %

中学校 鳥取県 30.0 %，全国 34.2 %

○小中共通〔15〕

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に「3時間以上」という回答

小学校 鳥取県 7.1 %，全国 11.7 %

中学校 鳥取県 17.6 %，全国 16.6 %

○小中共通〔17〕

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に「10分以上」という回答

小学校 鳥取県 64.2 %，全国 63.5 %

中学校 鳥取県 53.9 %，全国 49.7 %

○小中共通〔18〕

「本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか」に「週に1回以上」という回答

小学校 鳥取県 25.3 %，全国 16.4 %

中学校 鳥取県 15.3 %，全国 7.6 %

○小中共通〔21〕

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 65.0 %，全国 62.2 %

中学校 鳥取県 52.7 %，全国 48.4 %

○小中共通〔23〕

「家で学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 43.8 %，全国 43.3 %

中学校 鳥取県 27.6 %，全国 34.2 %

○小中共通〔24〕

「家で学校の授業の復習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 61.0 %，全国 55.2 %

中学校 鳥取県 48.0 %，全国 51.0 %

○小中共通〔34〕

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 82.4 %，全国 67.9 %

中学校 鳥取県 53.5 %，全国 45.2 %



平成28年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答	回答	
1	朝食を毎日食べていますか	96.3	95.5	0.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.6	80.1	1.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	90.8	0.7
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.0	94.4	0.6
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	79.1	76.1	3.0
6	自分には、よいところがあると思いますか	78.0	76.3	1.7
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.8	51.7	-0.9
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	93.2	92.7	0.5
9	将来の夢や目標を持っていますか	83.5	85.3	-1.8
10	普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか(夜11時までに寝る)	91.2	86.2	5.0
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見ている)	62.1	57.1	5.0
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯型、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか(1時間以上する)	47.1	55.0	-7.9
13	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)をしますか(1時間以上する)	13.0	18.5	-5.5
14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)(2時間以上勉強している)	20.1	25.5	-5.4
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)(3時間以上勉強している)	7.1	11.7	-4.6
16	学習塾(家庭教師含む)で勉強をしていますか	33.4	45.9	-12.5
17	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)(10分以上している)	64.2	63.5	0.7
18	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)(週に1回以上行く)	25.3	16.4	8.9
19	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	79.4	79.2	0.2
20	家の手伝いをしていますか	79.8	82.8	-3.0
21	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	65.0	62.2	2.8
22	家で学校の宿題をしていますか	96.8	97.0	-0.2
23	家で学校の授業の予習をしていますか	43.8	43.3	0.5
24	家で学校の授業の復習をしていますか	61.0	55.2	5.8
25	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	69.3	64.6	4.7
26	学校に行くのは楽しいと思いますか	86.9	86.3	0.6

## 【小学校】児童質問紙調査結果から

## 全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
27	学校で友達に会うのは楽しいですか	96.9	96.2	0.7
28	学校で好きな授業がありますか	92.3	93.5	-1.2
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ学校のきまりなどを決めていると思いますか	86.8	81.8	5.0
30	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめたりしますか	66.4	58.6	7.8
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	88.0	86.3	1.7
32	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.5	82.6	4.9
33	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	88.0	84.8	3.2
34	今住んでいる地域の行事に参加していますか	82.4	67.9	14.5
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	73.4	70.6	2.8
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	46.4	36.2	10.2
37	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	29.5	24.0	5.5
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	83.5	86.4	-2.9
39	学校のきまりを守っていますか	92.8	91.5	1.3
40	友達との約束を守っていますか	97.5	97.2	0.3
41	人が困っているときは、進んで助けていますか	87.2	84.6	2.6
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.9	96.6	0.3
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.9	93.8	1.1
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	77.2	77.2	0.0
45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	86.5	83.2	3.3
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	69.3	65.4	3.9
47	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか(5年生まで)	81.6	77.8	3.8
48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(5年生まで)	86.8	85.1	1.7
49	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)	86.6	83.4	3.2
50	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(5年生まで)	79.6	75.7	3.9
51	授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか(5年生まで)	80.2	77.1	3.1
52	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか(5年生まで)	65.5	64.2	1.3

## 【小学校】児童質問紙調査結果から

## 全国との比較

質問 番号	質問事項	全国との比較		差(%)
		県	全国	
53	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(5年生まで)	90.7	87.6	3.1
54	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)	79.8	76.1	3.7
55	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか(5年生まで)	90.7	87.9	2.8
56	道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(5年生まで)	81.2	77.6	3.6
57	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	59.5	60.4	-0.9
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか	52.2	54.8	-2.6
59	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.8	68.3	3.5
60	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	40.3	31.7	8.6
61	国語の勉強は好きですか	62.5	58.3	4.2
62	国語の勉強は大切だと思いますか	92.8	91.3	1.5
63	国語の授業の内容はよく分かりますか	84.0	80.7	3.3
64	読書は好きですか	77.1	74.6	2.5
65	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	89.2	2.2
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	71.4	67.0	4.4
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	66.9	62.3	4.6
68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	76.1	74.0	2.1
69	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	79.4	78.1	1.3
70	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	78.8	75.1	3.7
71	算数の勉強は好きですか	61.6	66.0	-4.4
72	算数の勉強は大切だと思いますか	92.0	91.9	0.1
73	算数の授業の内容はよく分かりますか	77.4	80.2	-2.8
74	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いて見たいと思いますか	76.0	75.8	0.2
75	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	83.1	81.0	2.1
76	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.4	67.4	1.0
77	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	89.9	1.5
78	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.3	80.5	-0.2

## 【小学校】児童質問紙調査結果から

## 全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
79	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	82.3	80.8	1.5
80	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.6	84.8	3.8
81	今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか(解答を書こうと努力した)	74.9	72.0	2.9
82	解答時間は十分でしたか(国語A)	85.6	85.2	0.4
83	解答時間は十分でしたか(国語B)	70.0	71.6	-1.6
84	解答時間は十分でしたか(算数A)	85.9	86.3	-0.4
85	解答時間は十分でしたか(算数B)	54.3	57.3	-3.0

平成28年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
1	朝食を毎日食べていますか	96.3	96.2	96.9	97.0
	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか				
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	81.6	79.6	81.3	80.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	91.2	91.3	91.6
4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	95.0	94.0	94.3	94.1
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	79.1	77.2	78.1	76.3
6	自分には、よいところがあると思いますか	78.0	75.9	78.4	75.6
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.8	49.8	51.4	52.3
	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか			76.3	78.0
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	93.2	93.3	93.9	93.2
9	将来の夢や目標を持っていますか	83.5	84.9	85.9	85.3
	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか(朝7時までに起きる)				88.5
10	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(夜11時までに寝る)	91.2			90.0
	普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか(8時間以上寝る)				77.2
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見ている)	62.1	63.0	61.4	65.9
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯式、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか(1時間以上する)	47.1	46.3	46.4	47.9
13	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯・スマホ含む)をしますか(1時間以上する)	13.0	12.7	9.7	16.3
	※H19質問文「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームやインターネットをしますか(1時間以上する)」				
	携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか				18.4
14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上勉強している)	20.1	19.9	20.9	23.6
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(3時間以上勉強している)	7.1	7.8	8.2	8.8
16	学習塾(家庭教師を含む)で勉強していますか	33.4	37.3	36.9	39.0
17	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上読書している)	64.2	64.5	67.6	68.9
18	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか(週に1回以上行く)	25.3	27.9	34.5	37.1
	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか				90.8
19	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	79.4	78.2	80.8	76.8

平成28年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
20	家の手伝いをしていますか	79.8	/	/	76.6
	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	/	/	/	28.5
	家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	/	96.9	96.7	95.9
21	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	65.0	64.9	65.3	61.8
22	家で学校の宿題をしていますか	96.8	96.0	96.0	96.9
23	家で学校の授業の予習をしていますか	43.8	40.6	43.5	40.2
24	家で学校の授業の復習をしていますか	61.0	56.5	58.7	56.1
	家で苦手な教科の勉強をしていますか	/	/	/	51.6
	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか	/	/	/	53.7
25	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	69.3	/	/	/
26	学校に行くのは楽しいと思いますか	86.9	85.9	85.8	85.7
27	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	96.9	/	/	96.3
28	学校で好きな授業がありますか	92.3	/	/	/
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていると思いますか	86.8	83.6	/	/
	学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたら、誰に相談することが多いですか。(家の人:兄弟姉妹を含む)	/	/	45.4	/
30	学級会などの話し合いの活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	66.4	/	/	/
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか	88.0	87.7	88.5	/
32	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.5	/	85.3	/
33	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	88.0	/	/	/
	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか	/	/	/	/
34	今住んでいる地域の行事に参加していますか	82.4	81.5	83.2	79.1
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	73.4	64.2	64.4	57.1
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	/	40.8	40.7	37.3
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	46.4	/	/	/
	学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強やスポーツを教えてもらったりすることがありますか。	/	/	/	39.7
	年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか。	/	/	/	71.6

平成28年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
	保育所や幼稚園に通っていましたか				
37	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	29.5	29.3	33.1	34.3
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	83.5	80.7	81.6	78.8
39	学校のきまりを守っていますか	92.8	91.5	93.2	92.4
40	友達との約束を守っていますか	97.5		97.7	98.3
41	人が困っているときは、進んで助けていますか	87.2			
	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか				94.5
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか		94.1	95.1	93.3
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.9	97.1	96.7	96.8
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.9	94.4	94.6	94.3
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	77.2			
45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	86.5	87.0	87.8	84.5
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	69.3	68.5	69.8	66.7
	授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)			78.1	54.7
47	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか(5年生まで)	81.6			
48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(5年生まで)	86.8	88.4	86.4	85.8
49	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)	86.6	86.5	88.7	84.6
50	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	79.6	75.7		
51	授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか(5年生まで)	80.2			
52	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか(5年生まで)	65.5			
53	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(5年生まで)	90.7	90.2	87.6	89.1
54	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(5年生まで)	79.8	78.3	75.1	76.5
55	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか(5年生まで)	90.7	90.0		
	授業では、ノートを丁寧に書いていますか				
56	道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(5年生まで)	81.2			

## 平成28年度全国学力・学習状況調査

## 【小学校】質問紙調査結果から

## 4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
57	400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	59.5	60.0	61.7	64.3
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか	52.2	53.7	54.3	57.2
59	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.8	67.4	69.6	
60	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	40.3	40.3	36.6	41.5
61	国語の勉強は好きですか	62.5	61.7	61.5	58.5
62	国語の勉強は大切だと思いますか	92.8	91.8	91.8	91.8
63	国語の授業内容はよく分かりますか	84.0	83.1	83.2	81.3
64	読書は好きですか	77.1	74.5	75.5	74.7
65	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	89.3	88.4	89.4
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	71.4	66.9	66.2	62.2
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	66.9	63.3	64.3	61.0
68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	76.1	71.9	72.6	68.7
69	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	79.4	75.8	75.2	71.2
	国語B-3の問題にあるような、長い文章を読むのは難しかったですか				
70	解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	78.8	80.9	79.7	72.3
71	算数の勉強は好きですか	61.6	60.9	63.8	65.0
72	算数の勉強は大切だと思いますか	92.0	92.4	92.2	92.5
73	算数の授業内容はよく分かりますか	77.4	78.7	79.4	80.9
74	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	76.0	75.9	78.0	77.2
75	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	83.1	79.4	80.5	80.5
76	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.4	64.8	64.9	65.1
77	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	90.7	89.2	90.4
78	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.3	76.0	78.7	79.0
79	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	82.3	80.2	82.0	81.1
80	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.6	84.7	86.8	83.7
81	解答を言葉や数、式を使って、説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか(解答を書こうと努力した)	74.9	76.3	82.5	78.6



平成28年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
	理科の勉強は好きですか	/	83.8	/	/
	理科の勉強は大切だと思いますか	/	88.0	/	/
	理科の授業の内容はよく分かりますか	/	88.5	/	/
	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	/	87.1	/	/
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	/	68.3	/	/
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	/	76.1	/	/
	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	/	26.5	/	/
	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	/	55.2	/	/
	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	/	89.3	/	/
	観察や実験を行うことは好きですか	/	88.8	/	/
	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている(月1回以上)	/	74.0	/	/
	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	/	79.4	/	/
	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	/	69.5	/	/
	解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	/	79.6	/	/
82	解答時間は十分でしたか(国語A)	85.6	83.2	86.3	42.6
83	解答時間は十分でしたか(国語B)	70.0	67.8	47.3	52.5
84	解答時間は十分でしたか(算数A)	85.9	84.1	89.1	70.7
85	解答時間は十分でしたか(算数B)	54.3	61.1	75.4	66.1
	解答時間は十分でしたか(理科)	/	77.1	/	/

平成28年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
1	朝食を毎日食べていますか	95.2	93.3	1.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.6	75.2	3.4
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.0	92.3	0.7
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.1	94.3	-0.2
5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	69.5	69.6	-0.1
6	自分には、よいところがあると思いますか	70.9	69.3	1.6
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.1	50.2	-0.1
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.0	93.0	1.0
9	将来の夢や目標を持っていますか	70.3	71.1	-0.8
10	普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか(夜11時までに寝る)	39.5	36.9	2.6
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見る)	53.8	48.7	5.1
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯式、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか(1時間以上する)	54.0	57.1	-3.1
13	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)をしますか(1時間以上する)	39.3	47.8	-8.5
14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)(2時間以上勉強している)	30.0	34.2	-4.2
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)(3時間以上勉強している)	17.6	16.6	1.0
16	学習塾(家庭教師も含む)で勉強をしていますか	52.9	61.0	-8.1
17	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)(10分以上読書している)	53.9	49.7	4.2
18	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)(週に1回以上行く)	15.3	7.6	7.7
19	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	74.8	74.1	0.7
20	家の手伝いをしていますか	64.7	67.2	-2.5
21	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	52.7	48.4	4.3
22	家で学校の宿題をしていますか	90.8	90.1	0.7
23	家で学校の授業の予習をしていますか	27.6	34.2	-6.6
24	家で学校の授業の復習をしていますか	48.0	51.0	-3.0

## 【中学校】生徒質問紙調査結果から

## 全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
25	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	65.2	68.2	-3.0
26	学校に行くのは楽しいと思えますか	81.0	81.4	-0.4
27	学校で友達に会うのは楽しいですか	94.3	94.7	-0.4
28	学校で好きな授業がありますか	77.4	79.9	-2.5
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ学校のきまりなどを決めてお思いますか	76.5	78.4	-1.9
30	学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	60.1	58.4	1.7
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	82.2	84.2	-2.0
32	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか	79.1	78.0	1.1
33	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	74.0	74.1	-0.1
34	今住んでいる地域の行事に参加していますか	53.5	45.2	8.3
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	65.2	65.8	-0.6
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	54.8	48.7	6.1
37	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	25.4	18.3	7.1
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	85.5	87.4	-1.9
39	学校の規則を守っていますか	95.2	94.7	0.5
40	友達との約束を守っていますか	97.3	97.2	0.1
41	人が困っているときは、進んで助けていますか	83.3	83.8	-0.5
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか	93.8	93.6	0.2
43	人の役に立つ人間になりたいと思えますか	92.4	92.8	-0.4
44	「総合的な学習の時間」の授業は好きですか	63.7	68.3	-4.6
45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思えますか	74.3	72.8	1.5
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	57.2	57.7	-0.5
47	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思えますか(1, 2年生のとき)	78.1	73.8	4.3
48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思えますか(1, 2年生のとき)	85.0	84.1	0.9

## 【中学校】生徒質問紙調査結果から

## 全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
49	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	85.2	77.8	7.4
50	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	76.3	69.3	7.0
51	授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか(1, 2年生のとき)	75.9	72.4	3.5
52	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか(1, 2年生のとき)	59.4	57.7	1.7
53	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(1, 2年生のとき)	91.1	84.9	6.2
54	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	70.4	63.1	7.3
55	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか(1, 2年生のとき)	83.8	76.8	7.0
56	道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	79.8	74.1	5.7
57	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	60.9	62.8	-1.9
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか	58.1	62.8	-4.7
59	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	68.1	64.8	3.3
60	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	42.8	34.9	7.9
61	国語の勉強は好きですか	58.1	59.8	-1.7
62	国語の勉強は大切だと思いますか	89.1	89.1	0.0
63	国語の授業の内容はよく分かりますか	72.2	74.1	-1.9
64	読書は好きですか	75.2	69.9	5.3
65	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.7	84.6	1.1
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	65.4	62.2	3.2
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	59.7	56.7	3.0
68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	69.3	66.7	2.6
69	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごと内容に理解しながら読んでいますか	70.8	71.3	-0.5
70	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	71.2	71.7	-0.5
71	数学の勉強は好きですか	54.2	56.0	-1.8
72	数学の勉強は大切だと思いますか	81.4	80.5	0.9

## 【中学校】生徒質問紙調査結果から

## 全国との比較

質問 番号	質問事項	肯定的回答		差(%)
		県	全国	
73	数学の授業の内容はよく分かりますか	66.4	69.4	-3.0
74	数学ができるようになりたいと思いますか	91.4	91.3	0.1
75	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	71.8	72.1	-0.3
76	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	42.7	41.9	0.8
77	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.7	71.5	2.2
78	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	65.7	69.0	-3.3
79	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	69.2	69.8	-0.6
80	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.1	81.1	0.0
81	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか(解答を書こうと努力した)	50.0	50.0	0.0
82	解答時間は十分でしたか(国語A)	93.2	93.3	-0.1
83	解答時間は十分でしたか(国語B)	83.4	84.6	-1.2
84	解答時間は十分でしたか(数学A)	89.0	89.2	-0.2
85	解答時間は十分でしたか(数学B)	61.1	62.9	-1.8

平成28年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
1	朝食を毎日食べていますか	95.2	94.6	95.1	95.8
	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	/	/	/	/
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.6	78.6	75.3	77.1
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.0	92.6	92.0	92.4
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.1	94.4	94.4	93.7
5	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	69.5	69.1	68.1	65.9
6	自分には、よいところがあると思いますか	70.9	68.3	67.7	66.0
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか	50.1	47.9	47.6	48.5
	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか	/	/	72.2	72.7
8	友達と話し合いとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.0	94.2	93.3	92.6
9	将来の夢や目標を持っていますか	70.3	70.6	69.4	70.9
	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか(朝7時までに起きる)	/	/	/	65.2
10	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(夜11時までに寝る)	39.5	/	/	33.1
	普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか(8時間以上寝る)	/	/	/	28.7
11	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(2時間以上見ている)	53.8	57.0	57.5	58.4
12	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯式、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む)をしますか(1時間以上する)	54.0	53.4	53.5	46.7
13	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、通話やメール、インターネット(携帯・スマホ含)をしますか(1時間以上する)	39.3	37.4	38.0	45.5
	※H19質問文普段(月～金曜日)、1日どれくらいの時間、テレビゲームやインターネットをしますか	/	/	/	/
	携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか	/	/	/	40.9
14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(2時間以上勉強している)	30.0	31.5	31.1	33.3
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(3時間以上勉強している)	17.6	18.0	18.1	17.3
16	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	52.9	51.9	52.1	52.9
17	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上読書している)	53.9	58.2	58.0	56.0
18	本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか(週に1回以上行く)	15.3	18.2	15.1	17.9
	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	/	/	/	87.4
19	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	74.8	73.5	72.6	68.9
20	家の手伝いをしていますか	64.7	/	/	62.5

平成28年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	/	/	/	28.0
	家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	/	87.2	86.4	85.2
21	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	52.7	50.2	47.1	46.2
22	家で学校の宿題をしていますか	90.8	90.6	89.8	89.5
23	家で学校の授業の予習をしていますか	27.6	27.2	27.0	24.0
24	家で学校の授業の復習をしていますか	48.0	49.6	46.0	45.2
	家で苦手な教科の勉強をしていますか	/	/	/	42.3
	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか	/	/	/	37.9
25	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	65.2	/	/	/
26	学校に行くのは楽しいと思いますか	81.0	82.2	83.2	81.0
27	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	94.3	/	/	93.8
28	学校で好きな授業がありますか	77.4	/	/	/
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っで学級のきまりなどを決めていると思いますか	76.5	78.5	/	/
	学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたら、誰に相談することが多いですか。(友達)	/	/	49.1	/
30	学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	60.1	/	/	/
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	82.2	84.5	85.3	/
32	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	79.1	/	76.3	/
33	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	74.0	/	/	/
	新聞やテレビのニュースなどに興味がありますか	/	/	/	/
34	今住んでいる地域の行事に参加していますか	53.5	53.9	52.2	48.7
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	65.2	56.0	54.4	48.9
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	/	32.5	28.9	23.7
36	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	54.8	/	/	/
	学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強やスポーツを教えてもらったりすることがありますか	/	/	/	19.9
	年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか	/	/	/	48.5
	保育所や幼稚園に通っていましたか	/	/	/	/
37	新聞を読んでいますか(週に1回以上読んでいる)	25.4	25.6	27.9	31.1

平成28年度全国学力・学習状況調査		4年間の比較			
【中学校】質問紙調査結果から		※斜線は質問項目がなかったもの			
質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	85.5	82.7	82.5	84.6
39	学校の規則を守っていますか	95.2	94.6	93.6	93.8
40	友達との約束を守っていますか	97.3	/	97.1	97.9
41	人が困っているときは、進んで助けていますか	83.3	/	/	/
	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	/	/	/	88.6
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	/	95.7	95.4	94.4
42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.8	94.6	94.6	94.8
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.4	94.2	94.9	93.6
44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	63.7	/	/	/
45	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	74.3	78.3	75.3	74.2
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	57.2	57.1	55.4	53.0
	授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	/	/	49.9	36.5
47	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	78.1	/	/	/
48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(1, 2年生のとき)	85.0	89.5	85.6	84.8
49	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	85.2	86.0	83.7	77.9
50	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	76.3	73.4	/	/
51	授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか(1, 2年生のとき)	75.9	/	/	/
52	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか(1, 2年生のとき)	59.4	/	/	/
53	授業では、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか(1, 2年生のとき)	91.1	90.0	84.4	82.9
54	授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか(1, 2年生のとき)	70.4	64.9	58.8	57.0
55	授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか(1, 2年生のとき)	83.8	79.4	/	/
	授業では、ノートを丁寧に書いていますか	/	/	/	/
56	道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(1, 2年生のとき)	79.8	/	/	/
57	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	60.9	62.5	65.5	67.2
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思いますか	58.1	61.6	63.9	67.2
59	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	68.1	65.5	65.6	/
60	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(友達に尋ねる)	42.8	44.3	44.0	47.7



平成28年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
61	国語の勉強は好きですか	58.1	59.2	58.4	57.2
62	国語の勉強は大切だと思いますか	89.1	90.2	89.7	88.9
63	国語の授業内容はよく分かりますか	72.2	72.3	70.0	71.2
64	読書は好きですか	75.2	72.1	73.2	73.0
65	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.7	85.9	84.3	83.8
66	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	65.4	62.8	58.8	55.9
67	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	59.7	55.5	50.5	48.9
68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	69.3	65.7	60.4	60.8
69	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	70.8	71.0	67.5	63.8
	国語B-1の問題にあるような、長い文章を読むのは難しいですか	/	/	/	/
70	解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	71.2	75.2	68.6	73.5
71	数学の勉強は好きですか	54.2	53.6	53.7	52.1
72	数学の勉強は大切だと思いますか	81.4	83.1	82.4	81.1
73	数学の授業内容はよく分かりますか	66.4	67.6	68.2	66.9
74	数学ができるようになりたいと思いますか	91.4	90.9	90.9	90.8
75	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	71.8	68.8	69.2	66.2
76	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	42.7	40.4	39.2	35.9
77	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.7	74.7	73.4	72.3
78	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	65.7	64.3	65.0	63.7
79	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	69.2	69.5	70.0	68.1
80	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.1	81.2	79.9	79.6
81	解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか(解答を書こうと努力した)	50.0	48.9	54.4	42.8
	理科の勉強は好きですか	/	62.7	/	/
	理科の勉強は大切だと思いますか	/	72.7	/	/
	理科の授業の内容はよく分かりますか	/	67.3	/	/
	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	/	76.4	/	/
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	/	46.8	/	/

平成28年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H28	H27	H26	H25
		肯定的な回答(%)			
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	/	58.3	/	/
	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	/	23.3	/	/
	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり、発表したりしていますか	/	41.5	/	/
	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	/	81.1	/	/
	観察や実験を行うことは好きですか	/	79.2	/	/
	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	/	54.9	/	/
	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	/	65.7	/	/
	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	/	56.7	/	/
	解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	/	51.5	/	/
82	解答時間は十分でしたか(国語A)	93.2	94.8	93.0	91.0
83	解答時間は十分でしたか(国語B)	83.4	86.4	80.0	73.8
84	解答時間は十分でしたか(数学A)	89.0	90.4	89.9	81.6
85	解答時間は十分でしたか(数学B)	61.1	76.1	76.6	54.3
	解答時間は十分でしたか(理科)	/	84.8	/	/

# 鳥取県の「教育に関する大綱」

平成28年3月29日  
鳥 取 県

## はじめに

平成26年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の改正に伴い、平成27年度から各地方公共団体の長には、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標（めざす姿）や施策の根本となる方針を明らかにするための「教育に関する大綱」（以下、「大綱」という。）の策定が求められることになりました。

平成24年3月、本県では「教育振興協約」を締結し、知事と教育委員会とが連携した取組をスタートさせるとともに、平成25年5月には知事、教育委員会、そして民間委員による「教育協働会議」を設置し、協約に基づく施策の点検や検討を行うなど、鳥取県の子どもたちの未来のための教育振興に先行的に取り組んできました。

鳥取県の大綱は、これまでの「教育振興協約」を継承していく認識のもと、「鳥取県教育振興基本計画」を基本として、本県教育の中期的な取組方針とともに、毎年度の重点的な取組施策を定めていきます。

知事と教育委員会とは随時協議・調整を行いながら施策の進行状況や効果を検証し、施策の着実な推進を図るとともに、教育に対する県民の願いや想い、現場の声を大切にして迅速に施策に反映させます。

## 第一編 平成27年度から平成30年度までの中期的な取組方針

### 1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

人口が少ない本県においては、地域全体の力を高め、地域の中で優れた人材を育てていく必要があります。ふるさと鳥取県で生まれ育った優れた人材は、県内経済や地域社会を支える次代の担い手となるほか、県外で就労・生活されてもUターン後に、豊富な経験や知識、技能等を生かして県内で活躍し県を支え、また県外から鳥取県を応援するなど、様々な形態での鳥取県への貢献・支援も期待できます。

このため、子どもたちの特長、長所を更に伸ばし、確かな学力の定着・向上を図るため、幼児期から高等学校期までの連続した鳥取ならではのきめ細やかな教育を推進し、子どもたちの学ぶ意欲を高めるための取組を進めていきます。

また、主体的・協働的に学ぶ人材を育成するため、少人数学級を取組やアクティブ・ラーニング型の授業実践、情報モラルを踏まえたICT活用教育の推進、エキスパート教員の優れた指導力を活用した教員の授業力・指導力向上などにより、学力向上に向けた授業改革を進めます。

加えて、グローバル化に対応した英語教育の推進、「生きる力」を身に付け、地域ニーズに対応できる人材の育成を目指したキャリア教育の推進、豊かな学習機会を提供する土曜授業等に取り組むなど、教育現場の活性化を図り、子どもたちの学びの質の向上に取り組めます。

## 2 社会全体で学び続ける環境づくり

### ～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～

ふるさと鳥取県を愛し、自立して心豊かに生きる人材を育てていくためには、教育に対する考え方を地域と共有し、地域とともに教育・人づくりを進めていくことが必要です。

このため、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育てる体制づくりを推進する一方で、保護者への学習機会提供や相談支援体制の整備などにより家庭教育を充実するほか、公民館などの学びの場を拠点とした自然体験・社会体験にチャレンジする機会、異世代が交流しふれあう機会の創出や、図書館・博物館などの社会教育施設の機能充実も含めた生涯学習環境の充実などにより、社会全体の教育力を高めていきます。

また、「ふるさと鳥取」に愛着と誇りを持った人材を育てていくため、自然・歴史・文化などの優れた地域資源を活用した「ふるさと教育」を推進するとともに、科学・ものづくりの楽しさを知る機会の充実や、子どもたちの学習意欲の向上や起業・創業など夢の実現に向けた意欲を高める教育の推進などに取り組みます。

加えて、子どもたちの豊かな心を育み規範意識を高める道徳教育や、政治や選挙に対する関心を高め主体的に社会に参画する力を育成する主権者教育を推進するなど、社会の一員としての自覚と責任を促します。

### 3 学校を支える教育環境の充実

#### ～安全・安心に学べる教育環境づくり～

子どもがのびのびと学ぶためには、安全・安心な学習・生活環境を整える必要があります。

このため、生徒離れが進行する高校を含めた中期的な高校改革を進め、時代のニーズや地域の実情に応じた魅力ある学校づくりに地域と連携して取り組みます。

また、学校と家庭、地域、関係機関が一丸となっていじめ防止に総合的に取り組むとともに、不登校や特別な支援を必要とする子どもたちへの効果的な支援と子どもの貧困対策の推進のため、学校等における組織的な対応を強化し、教職員の対応力向上やソーシャルスキルトレーニング等を活用した学級づくり・人間関係づくりに取り組むなど、安心して学べる教育環境づくりを推進します。

さらに、急速に進展する情報化に対応して子どもたちの健全な成長を支えるための情報モラル教育の充実を図るとともに、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康な生活を送る基礎づくりのため、健康教育や食育の推進に取り組むほか、通学路の安全対策をはじめとした交通安全や防災、防犯などの安全教育の推進、鳥取県版環境管理システム（TEAS）の取得や自然エネルギーの導入などの環境教育の推進、教職員が子どもたち一人ひとりと向き合える環境を整備するための教職員の多忙解消・負担感軽減などに取り組みます。

#### 4 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実 ～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

特別な支援を必要とする児童生徒が年々増加している中、障がいのある子どもたちが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、輝ける存在として社会でいきいきと暮らしていくためには、一人ひとりのニーズに対応した教育を進めていくとともに、障がいに対する県民の理解を深め、共生の心を育む地域づくりを進めていくことが重要です。

このため、早期からの障がいの発見、相談支援の充実を図り、幼児期から高等学校期まで連続性のある教育を推進するとともに、在学中から学校と労働、福祉等関係機関との連携を強め、適切な就学先決定、就労支援と職場定着に取り組むほか、医療的ケアの必要な児童生徒への支援体制の充実に取り組むなど、個別の教育的ニーズに的確に応える教育環境の整備を推進します。

また、特別支援学校が、その専門性を基盤として、地域の特別支援教育拠点としての役割を担えるよう、教育相談や研修機能の充実を図ります。

加えて、全国初の手話言語条例の制定をきっかけとして、ろう及び手話への理解促進や手話を学ぶ機会の拡大を図るとともに、県民への障がいの理解・啓発を図ります。



## 5 スポーツ・文化の振興

### ～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の 継承、創造、再発見～

運動・スポーツは、子どもたちの体力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育む基礎となります。本県出身の選手の世界や全国の舞台での活躍は、県民に夢や希望をもたらし、明るく豊かで活力に満ちた社会を創造します。

また、本県の先人たちが育んだ伝統と個性のある文化・芸術に県民が触れ、地域への理解と絆を深めることは、郷土を愛し、豊かな人間性を持った人材の育成につながります。

このため、幼年期から楽しく体を動かす機会を確保し、運動（遊び）が日常的に定着し習慣化されるよう、ライフステージに応じた運動機会の確保・充実、必要な環境整備を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を絶好の機会と捉え、ジュニア期からの一貫指導体制の一層の充実を図るなど、世界や全国で活躍する選手の育成に取り組みます。

加えて、子どもたちの豊かな人間性の育成と共生社会実現のため、文化芸術活動を通していきいきと活躍できる場の充実を図るほか、県民が多彩な文化芸術に親しむ環境づくりを進めるとともに、県民の財産である文化財や伝統文化を知り、接する機会を創出し、その保存、次世代への継承にも取り組みます。

## 第二編 平成28年度重点取組施策

### 1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進

～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

#### ① 小中一貫教育の推進

地域住民との協働・連携による小中一貫教育を推進するため、中学校区で住民参画の協議会を設置し、目指す子ども像を共有して小中9年間の系統性のあるカリキュラムを作成する市町村を支援します。

#### ② 小中高連携による教科指導の体制づくり

県内に設置した6つのモデル地区（ツリー）で、小中高が英語又は数学の教科指導を通して連携し、小中高を見通した学習内容の定着と応用力を伸ばす教科指導体制のモデルづくり及び成果の全県への普及に取り組みます。

#### ③ 幼保小連携の推進

豊かな自然を生かすなどした遊びきる子どもの育成や、小学校教育との連携による円滑な接続等を図ることを目指して作成した「幼保小連携カリキュラム」を全県に普及するため、実践例を動画等にわかりやすくまとめた事例集などを、幼稚園・保育園・認定こども園等における教職員の指導力向上の研修等に活用し、幼児教育の充実に取り組みます。

また、就学前の育ちと学びをつないでいくための接続期のカリキュラム作成など、幼児教育と小学校教育との相互理解に基づく円滑な接続を目指す取組を推進します。

#### ④ 授業改革の推進

学力の向上を目指すため、特に算数・数学等の課題解決に向けた取組を行う授業研究会等にアドバイザーを派遣し、小中学校相互の教科でのつながりを基盤として、教師の授業力向上に取り組むとともに、課題となっている小学校の理科の指導力を向上させるため、拠点校を中核にして授業改革を行い、その成果を全県に普及します。

また、学力定着等に成果が期待される小学校高学年における教科担任制をモデル的に導入し、その成果を全県に普及します。

さらに、研修を通して全校種でのアクティブ・ラーニングの授業デザイン力を高めるとともに、高校でのアクティブ・ラーニング型の授業実践を発表し合う「学びの文化祭」を開催し、その成果を全県に普及します。

加えて、「学校図書館活用教育推進ビジョン」及び「学校図書館活用ハンドブック」を普及促進し、授業で学校図書館の活用を増やし、児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。

#### ⑤ 高大接続システム改革への対応

高大接続システム改革を見据え、高校等に専門講師を招聘してアクティブ・ラーニングを取り入れた授業へと改革するとともに、「高等学校基礎学力テスト（仮称）」（平成31年度から実施予定）及び「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」（平成32年度から実施予定）等に対応するため「21世紀型学力検討委員会」を設置し、具体的な授業改革や教育課程の編成について検討します。

#### ⑥ ICT活用教育の推進

ICTを活用して卓越した教科指導等を行うエキスパート教員の認定や学校C・I・O・情報化推進リーダー研修を行うなど、教員のICT活用指導力の向上等に努めるとともに、民間企業・大学等で構成するコンソーシアムにおいて、授業におけるICTの効果的な活用を進めます。

また、ICTを活用した教材やエキスパート教員の授業映像を配信・共有することにより、県内の教員が学び、授業を高め合う仕組みを構築します。

さらに、小中連携で情報モラル教育に取り組む中学校区を指定し、小中9年間を見通した年間指導計画を作成するなどして、その成果を全県に普及します。

⑦ 教員の指導力の向上

新たなエキスパート教員を認定するとともに、教員が互いに学びあう風土をつくるため、中核教員の養成など、教員の指導力の向上に取り組みます。

⑧ グローバル化に対応した英語教育の推進

グローバル化に対応した教育環境づくりや、2020年の新学習指導要領の全面実施に対応する英語科教員の指導力を向上するため、教員研修を充実します。

また、子どもたちの外国に対する興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、外国語指導助手（ALT）の配置増や海外留学・海外体験への支援の充実などに取り組むとともに、海外高等教育機関との交流を進めるほか、とっとりイングリッシュクラブの活動などを通じて実践的な英語使用の機会の充実に努めます。

⑨ キャリア教育の充実

社会的に自立する能力や態度を育て、夢や希望に向かって果敢にチャレンジする高校生を育成するため、各学校の体系的なキャリア教育推進計画の作成支援等を行うスーパーバイザーの配置やキャリア教育を支援する企業を「鳥取県キャリア教育推進協力企業」に認定するなどして、全ての県立高校でキャリア教育を推進します。

また、農林水産業に関連する専門高校が地域の産業界や教育機関等と連携し、社会で求められる多様な知識・技術や、専門的な資質・能力を生徒に習得させ、農林水産業はもとより、6次産業化など地域産業の担い手としての意識や自覚を育むことにより、地域に貢献する人材を育成します。

⑩ 土曜授業等の取組の推進

すべての県立高校において、土曜授業等を含む土曜日を活用した教育活動に取り組むとともに、取組にあたっては、実施校以外の生徒や教員の参加を認めるなど、学校の枠を超えて切磋琢磨できるような環境づくりに努めます。

また、子どもたちの土曜日の教育環境の充実に取り組むすべての市町村を支援するなど、全県的に取組を推進します。

さらに、学校法人における取組を支援します。

2 社会全体で学び続ける環境づくり

～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～

① 学校、家庭、地域が連携して子どもを育てる体制づくりの推進

子どもたちの健やかな成長を育むため、学校支援ボランティアの活躍や放課後子供教室等の取組の充実に加えて、地域住民のより一層の参画を図り、学校、家庭、地域が連携して子どもを育てる体制づくりを推進します。

また、「鳥取県家庭教育推進協力企業制度」を県内企業等に周知し、協力企業を増やすなど、ワーク・ライフ・バランスを推進することで、社会全体で家庭教育を支援し、子育てしやすい環境づくりを進めます。

② ふるさと教育の推進

史跡、まちなみ、建築物、郷土芸能、伝統芸能、民芸等の様々な郷土の貴重な財産に触れ、その良さを感じる学習等を進めるとともに、地域をテーマとした探究学習や地域や地元企業等と連携した教育活動の充実を図り、「郷土とっとり」に愛着と誇りをもった人材の育成に取り組めます。

③ 科学・ものづくり教育の推進

「科学の甲子園ジュニア」等の全国大会への出場権をかけた科学の競技会、著名な科学者の講演や科学実験教室の開催などにより理数系分野の学習意欲の一層の向上や科学にふれる機会を提供するとともに、教員の理数教科の指導力の向上に取り組めます。

また、Fablab ととりの運営、中高生向け研修など産学官協働で取り組むものづくり教育や「高校生ものづくりコンテスト全国大会」等の各種競技会への参加などの実践活動を支援します。

④ 学ぶ意欲が高まる教育の推進

社会で活躍している方や、創意あふれる活動を行っている方を講師としたり、そのような事例を学ぶ取組と、そのような活動を行ってみたいと考える生徒に対する資金面を含む支援を通じて、学習意欲や起業・創業など夢の実現に向けた意欲を高めるための仕掛けづくりに取り組みます。

⑤ 家庭教育の充実

市町村と協力しながら、PTAや地域での保護者の交流や支援に携わる関係者の連携を促進し、家庭教育に関する情報提供や相談対応、学習機会のコーディネートなど、地域の実情に応じた家庭教育支援体制の強化に取り組みます。

また、現在の家庭教育支援チームの主たる活動である相談や学習機会の提供に加え、個々の家庭の課題に応じて必要な支援が届くよう訪問型家庭教育支援の取組を促進します。

⑥ 子どもが成長する安全・安心な居場所づくり

低所得世帯やひとり親家庭など困難な家庭環境にある子どもたちが、社会性を身につけ、自己肯定感を高めていけるよう、夜間や休日に、地域の大人や友達と一緒に食事を作って食べたり、勉強したりするなどの体験活動を通じて学ぶ、子どもの居場所づくりを支援します。

⑦ 社会教育の推進

学びの場を拠点とした地域のつながりや交流を深め、連携して地域や子どもを守り育てるため、公民館の職員等社会教育関係者の資質の向上を図るほか、地域のことを学んだり、地域活動・ボランティア活動に取り組んだりする高校生や青年層の団体を支援し、次代の地域を担う人材の育成に取り組むことなどにより、社会教育の充実に取り組みます。

⑧ 主権者教育の推進

公職選挙法の一部改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、小・中・高校のそれぞれの段階において、教科における指導を行うほか、地域を知り、地域に関心を持つための活動をとらして児童生徒の社会参画意識を高めるとともに、模擬投票などを通じて政治や選挙の役割を学ぶなど、主権者教育を推進します。

3 学校を支える教育環境の充実

～安全・安心に学べる教育環境づくり～

① いじめ防止等への取組の充実

学校・家庭・地域が一丸となって取り組むための人権教育プログラムを開発・普及し、総合的ないじめ防止対策につなげるとともに、「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめ問題に関係する機関・団体の連携を図ります。

また、児童生徒による主体的ないじめ防止の取組を充実するため、児童生徒の取組の発表等を行うシンポジウムを開催します。

加えて、現代的・社会的課題に対応した人権意識を高める教育にも取り組みます。

② 安心して学べる学校教育の推進

不登校や特別な支援を必要とする子どもたちへの効果的な支援に向けて、公立学校、私立学校及び関係機関等が、それぞれ持つノウハウを共有し、教職員の対応力の向上等に取り組めます。

また、貧困の子どもたちを支援するため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置や研修の充実などにより、学校を窓口として福祉関連機関との連携を強化し、相談・支援体制の充実を図ります。

加えて、児童生徒が置かれている環境が複雑多岐にわたる現状等を鑑み、県内のスクールソーシャルワーカーに対し、適切な支援ができるようスーパーバイザーを配置します。

③ 貧困の連鎖を断ち切る学習支援の充実

経済的な理由や家庭の事情により、大学進学等を断念しない仕組みづくりを進めるとともに、家庭での学習が困難であったり、学習が遅れがちな中学生等が放課後や土曜日、長期休業中に学習できる環境を地域人材を活用しながら整備します。

④ フリースクール活用など多様な学びの場の確保

不登校等の児童生徒に対して、多様な学びを提供する「フリースクール」を、集団生活への適応の場、学校復帰等に向けた学びの場として活用するに当たり、「不登校児童生徒を指導する民間施設のガイドライン」に沿った「出席扱い」の判断がなされるよう周知するとともに、基準に適合するフリースクールへの運営費支援を行うなど、多様な学びの場の確保に取り組みます。

⑤ メディアとの正しい接し方の教育啓発の推進

児童生徒の健全な成長が損なわれることのないよう、保護者や地域住民が行う学習への講師派遣を行うとともに、乳幼児期からのメディアとの正しいつきあい方についてPTAとも連携した教育啓発を行います。

⑥ 県立高校の魅力づくり

学力向上や資格取得の促進、地域や企業等と連携した教育活動の実施など、教育委員会・各高校・地域が連携して県立高校の魅力化や特色づくりに取り組み、全国からも注目されるような学校づくりを進めます。

併せて、県外から生徒を受け入れる取組を推進します。

⑦ 教職員の多忙解消・負担感軽減

教職員が一人ひとりの児童生徒に向き合える環境を整えるため、会議運営の効率化や校務分掌の再編など、各学校において学校カイゼン活動を実施することにより、教職員の過重負担・多忙解消と負担感軽減に向けた取組を推進します。

また、小中学校において教員が行う学校業務の負担軽減を図るため、校務支援システムの共同調達について市町村とともに検討を進めます。

⑧ 県民の期待と信頼に応える教育現場の実現

責任感と誇りを持った教職員を育成し、教育現場でのコンプライアンスの一層の確立に努めます。

⑨ 安全教育の推進

登下校時や校内における事件や事故、災害から児童生徒を守るため、学校の危機管理体制の充実を図るとともに、学校、家庭、地域及び関係機関との連携による通学路の安全点検をはじめとした地域ぐるみの安全対策を推進します。

⑩ 健康教育の充実、食育の推進

学校、家庭、地域及び関係機関と連携し、命の大切さを身につけさせる性に関する指導や薬物乱用防止教育などの健康教育の充実を図ります。

また、食に起因する健康課題に適切に対応するため、学校全体で食に関する指導を充実させるほか、学校と家庭が連携して食育を推進します。

4 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実  
～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

① 障がい児への支援体制の充実

障がいのある幼児児童生徒への幼児期、小学校期から高等学校期まで連続性ある教育を推進するとともに、学校と労働、福祉等の関係機関との連携を深め、適切な相談支援、発達支援、就労支援を行うなど支援体制の充実を図ります。

また、特別支援学校の専門性を強化し、教育相談や研修を行うなど、地域の特別支援教育拠点としての役割を充実します。

② 発達障がいのある児童生徒への支援の充実

増加する発達障がいのある児童生徒に対応するため、市町村に発達障がい支援アドバイザーを配置するとともに、学習面の困難さ、特に読み書きの困難さの早期の発見を通して通常学級における指導方法を改善するほか、通級指導体制の構築、LD等専門員の養成、発達障がい教育拠点のコーディネーターによる教育相談の実施など、早期から一人ひとりに応じた指導・支援の充実を図ります。

③ 特別支援教育と障がいのある子どもの理解・啓発

教職員をはじめ、保護者、地域の方、広く県民に対して研修や広報活動等を通じて、特別支援教育や障がいのある子どもの理解、啓発を図ります。

④ 特別支援教育における医療的ケア実施体制の充実

学校看護師を統轄する常勤看護師を配置するとともに、学校看護師に対する研修に加え、教員に対する研修を充実させることにより、看護師と教員が協働した医療的ケア実施体制の構築を図ります。

⑤ 手話教育の推進

教職員の手話技術の向上に取り組むほか、手話普及コーディネーターを配置して手話普及支援員を学校に派遣するなど、学校におけるろう及び手話への理解が深まるよう環境整備を推進するとともに、県立高校において言語である手話のカリキュラムへの導入、手話学習事例集の活用など、手話を学ぶ機会の拡大にも取り組みます。

⑥ 特別支援学校生徒の職場定着の推進

卒業生の職場定着を推進するため、特別支援学校に定着支援コーディネーターを配置し、企業、労働及び福祉等の関係機関と連携しながら、ジョブマッチングや就職後のフォローアップを強化します。

5 スポーツ・文化の振興

～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

① 運動遊びや体育学習の充実

幼年期から楽しく体を動かす機会を確保することで、運動（遊び）が日常的に定着し、習慣化されることを目指して、子どもたちの運動意欲を引き出し、体力向上を図るため、体育学習や放課後等に地域人材を活用した運動遊び等の運動機会の確保・充実に取り組みます。

② トップアスリートの育成

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催等に向けて、ジュニア期からの一貫指導体制の一層の充実やタレント発掘及び選手強化、トップアスリートと子どもたちが触れ合う機会の創出に取り組むなど、世界や全国で活躍する選手を育成するとともに、国内外トップチームのキャンプ招致などに取り組みます。

併せて、競技指導体制の充実を図るため、選手の指導にあたっている優秀な教員の指導者について、選手指導等に専念させる体制を整えます。

③ 文化芸術活動の振興

本県で初めて開催した「近畿高等学校総合文化祭」の成果を維持・継続し、高校の文化部活動の充実・発展に取り組みます。

また、障がい者芸術文化祭への参加を通じて得られた成果を生かすため、「あいサポートアートとっとり祭」など地域で開催されるイベントに参加することにより、障がいのある子どもたちの文化活動の活性化と、文化芸術活動を通じた健常者と障がいのある人との交流の機会の拡大に取り組みます。

## 平成28年度指標一覧

### 学ぶ意欲を高める学校教育の推進

#### ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

- ・ 全国学力・学習状況調査において、各教科ごとの県平均が全国平均を上回るとともに、別紙に定める学力向上指標において前年度を上回る。
- ・ 各県立高校が毎年度当初に設定する学力向上の推進に係る指標を全ての学校で達成する。
- ・ エキスパート教員の数が前年度を上回る。
- ・ 幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るためのスタートカリキュラムが編成されている小学校の割合を増加する。
- ・ 英語指導力向上研修に教員等を参加させる公立学校数を増加する。  
[研修参加率の目標値：小学校 75%，中学校 100%，高校 100%]
- ・ 全ての県立高校で土曜日を活用した教育活動に取り組む。
- ・ 土曜授業等に取り組む市町村を前年度以上とする。
- ・ 教員のICT活用指導力調査において、教員のICT活用指導力が全国平均を上回る。

### 社会全体で学び続ける環境づくり

#### ～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～

- ・ 学校支援ボランティアの登録者数が前年度を上回る。
- ・ 全ての県立高校で投票体験等の学習を取り入れた主権者教育を実施する。

### 学校を支える教育環境の充実

#### ～安全・安心に学べる教育環境づくり～

- ・ 不登校児童生徒への指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒の割合が前年を上回る。
- ・ 不登校の出現率が全国平均を下回るとともに前年度より低減する。

### 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実

#### ～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

- ・ 教育センターが開催する全ての基本研修において手話の普及に取り組む。
- ・ 中学校から高等学校への個別の教育支援計画の引継率を100%にする。

### スポーツ・文化の振興

#### ～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

- ・ 鳥取県体力・運動能力調査結果の総合判定（A～Eの5段階）において、A又はBの割合が目標値を上回る。  
[目標値：小5男子 50%，小5女子 55%，中2男子 50%，中2女子 65%]
- ・ 国民体育大会での入賞（8位以内）が種目数で50種目、人数で120人を上回る。  
[目標値：種目数 50種目 人数120人]
- ・ 文化・芸術、スポーツ等の分野で、全国で活躍する児童・生徒数（全国3位以上）が60人を上回る。

## [学力向上指標]

学力調査の状況	
(1)	全国学力・学習状況調査の実施教科において、前年度よりも最上位層の割合が全国の割合を上回る
(2)	全国学力・学習状況調査の実施教科において、前年度よりも最下位層の割合が全国の割合を下回る
(3)	全国学力・学習状況調査において、過去の問題と同一趣旨の問題の正答率について全国平均を上回った割合が前年度を上回る
(4)	全国学力・学習状況調査において、記述式の問題の無解答率について全国平均以下であった割合が前年度の割合より下回る
(5)	全国学力・学習状況調査において、中学3年生の各教科の最上位層の割合が、同生徒が小学校6年生時の各教科の最上位層の割合を上回る
(6)	全国学力・学習状況調査において、中学3年生の各教科の最下位層の割合が、同生徒が小学校6年生時の各教科の最下位層の割合を下回る
学び方の質・学習状況	
(7)	<p>主体的・協働的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身に付けた知識・技能や経験を、生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加(算数・数学)</li> <li>・「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加</li> <li>・「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」学校、教員の増加</li> <li>・授業の中で、自分たちで課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組む児童生徒の増加</li> <li>・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする児童生徒の増加</li> <li>・「全校一斉読書に取り組む」学校の増加</li> <li>・「読書が好きである」児童生徒の増加</li> </ul>
(8)	<p>家庭における学習等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加</li> <li>・「児童生徒に対する国語・算数(数学)の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加</li> </ul>
豊かに生きる共に生きる力の状況	
(9)	<p>自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加</li> <li>・「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の増加</li> <li>・「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の増加</li> <li>・「学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがある」児童生徒の増加</li> </ul>
(10)	<p>進路に向けた意識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加</li> <li>・「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加</li> </ul>
(11)	<p>地域社会への参画状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の行事に参加している」児童生徒の増加</li> <li>・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の増加</li> </ul>



# 学力向上指標(鳥取県の「教育に関する大綱」状況一覧)

※H23年度は調査・アンケート未実施

## 【学力調査の状況】

対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
◆前年度より、最上位層の割合が全国の割合を上回る(小中)	小6	75.0%	100.0%	60.0%	100.0%	100.0%	25.0%
	中3	75.0%	50.0%	80.0%	100.0%	60.0%	100.0%
◆前年度より、最下位層の割合が全国の割合を下回る(小中)	小6	50.0%	50.0%	60.0%	100.0%	75.0%	75.0%
	中3	100.0%	50.0%	80.0%	100.0%	80.0%	75.0%

区分	区				分			
	国A	国B	算A	算B	国A	国B	算A	算B
小6	○	○	○	○	○	○	○	○
中3	○	○	○	○	○	○	○	○

対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
◆過去の調査と同一問題の正答率について、全国平均を上回った割合が前年度を上回る(小中)	小6			72.7%	66.7%	100.0%	100.0%
	中3			85.7%	33.3%	50.0%	50.0%
◆記述式問題の無解答率について全国平均以下であった割合が前年度の割合より下回る(小中)	小6			87.5%	100.0%	100.0%	100.0%
	中3			70.0%	44.4%	40.0%	30.0%
◆中学校3年生の各教科の最上位層の割合が、同生徒が小学校6年時の各教科の最上位層の割合を上回る(小中)	中3						25.0%
◆中学校3年生の各教科の最下位層の割合が、同生徒が小学校6年時の各教科の最下位層の割合を下回る(小中)	中3						100.0%

区分	区				分			
	国A	国B	算A	算B	国A	国B	算A	算B
中3	○	○	○	○	○	○	○	○

## 【学び方の質・学習状況】

### ◆主体的・協働的な学び

対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
「身に付けた知識・技能や経験を、生活の中で活用できないか考える」児童生徒の増加(小中) ※算数・数学	小6	61.4%	63.9%	63.8%	65.1%	64.9%	68.4%
	中3	29.4%	31.4%	33.8%	35.9%	39.2%	42.7%
「学校の授業は、内容がわかりやすく、勉強することの充実感を感じる」生徒の増加(高)	高2	実施なし	47.6%	50.2%	69.4%	69.9%	70.9%
	小	94.3%	92.0%	98.1%	95.3%	95.5%	96.2%
	中	92.3%	97.1%	92.0%	92.0%	93.7%	92.1%
	高校教員	実施なし	77.0%	80.5%	89.6%	90.2%	89.9%
	小6	項目なし				75.7%	79.6%
	中3	項目なし				73.4%	76.3%
「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする」児童生徒の増加(小中)	小6	54.8%	58.4%	62.0%	62.2%	66.2%	71.4%
	中3	44.1%	44.9%	54.3%	55.9%	58.8%	65.4%
「全校一斉読書に取り組む」学校の増加(小中高)	小	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	99.3%	100.0%
	中	95.4%	97.1%	100.0%	95.3%	92.0%	100.0%
	高	45.8%	87.5%	87.5%	91.6%	83.3%	83.3%
「読書が好きである」児童生徒の増加(小中高)	小6	74.9%	74.2%	75.1%	74.7%	75.5%	77.1%
	中3	73.2%	73.5%	74.3%	73.0%	73.2%	72.1%
	高2	H25年新規項目		68.2%	64.8%	66.0%	別途

### ◆家庭における学習等の状況

「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の増加(小中高)	小6	55.1%	57.4%	57.2%	61.8%	65.3%	64.9%	65.0%
	中3	36.9%	41.3%	43.8%	46.2%	47.1%	50.2%	52.7%
	高2	実施なし	29.0%	36.0%	39.4%	37.9%	39.4%	別途
「児童生徒に対する国語・算数(数学)の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行う」学校の増加(小中)	小	97.6%	92.1%	96.6%	98.5%	97.0%	94.8%	96.9%
	中	63.1%	46.1%	62.5%	62.0%	87.3%	68.2%	81.7%

## 【豊かに生きる共に生きる力の状況】

### ◆自分自身や他者、社会等との関わりに関する意識

対象	H21年度	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の増加(小中高)	小6	73.1%	71.6%	項目なし	76.3%	78.1%	77.2%
	中3	57.7%	60.1%	項目なし	65.9%	68.1%	69.1%
	高2	実施なし	30.4%	40.4%	53.9%	61.4%	58.8%
	小6	項目なし		57.1%	64.4%	64.2%	73.4%
	中3	項目なし		48.9%	54.4%	56.0%	65.2%
	高2	実施なし	47.9%	実施なし	53.8%	実施なし	別途
「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の増加(小中)	小6	76.2%	75.9%	77.7%	75.6%	78.4%	75.9%
	中3	62.3%	64.2%	69.7%	66.0%	67.7%	68.3%
「学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがある」児童生徒の増加(小中)	小6	項目なし			88.5%	87.7%	88.0%
	中3	項目なし			85.3%	84.5%	82.2%

### ◆進路に向けた意識

「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の増加(小中高)	小6	84.7%	85.9%	84.8%	85.3%	85.9%	84.9%	83.5%
	中3	69.1%	68.9%	71.7%	70.9%	69.4%	70.6%	70.3%
	高2	H25年新規項目		77.1%	76.7%	75.3%	別途	
「自分の進路を実現するために、目標に向かって努力している」生徒の増加(高)	高2	実施なし	46.8%	55.8%	67.2%	69.0%	66.9%	別途

### ◆地域社会への参画状況

「地域の行事に参加している」児童生徒の増加(小中高)	小6	76.1%	76.1%	77.9%	79.1%	83.2%	81.5%	82.4%
	中3	43.7%	43.9%	44.6%	48.7%	52.2%	53.9%	53.5%
	高2	実施なし	23.7%	30.5%	30.8%	38.6%	36.0%	別途
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の増加(小中)	小6	項目なし		37.3%	40.7%	40.8%	項目なし	
	中3	項目なし		23.7%	28.9%	32.5%	項目なし	

## 第9回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

平成28年10月7日  
博 物 館

美術館整備に係る基本構想案について審議するため、第9回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会を開催しましたので、その概要について下記のとおり報告します。

- 1 日 時 平成28年9月30日(金)午後1時から午後4時まで
- 2 場 所 鳥取県立博物館 会議室
- 3 議 題 施設設備・建築費の見直し、美術館の整備検討に関する意識調査(案)、特色づくりについて

#### 4 主な意見

##### 【施設設備・建築費の見直し】

- ・「基本案」と「圧縮案」を両方基本構想に載せると、圧縮案がベースになる恐れがある。圧縮案は参考までに事務局で保持するに止め、構想に入れるのは基本案だけにすべき。
  - ・基本案は必要な機能を実現するための最低限のものとして理解しているが、圧縮案が本当に「機能を損なわない」なら、実は基本案には贅肉が付いていたということになる。
  - ・建築設計で施主の(機能面の)注文に基づく積算が予算を上回ると、何かを我慢して貰う。機能を全く損なわないのは無理。多少は機能を損なうことを明記すべき。
  - ・(一見機能を損なわない様に見える)収蔵庫の2階化にも、上層への搬入に労力や設備が必要になる等デメリットがある。また、結果として県民が利用する諸室の面積だけが削減されているのも問題。
  - ・各室の削減面積を提示し、それを基本案と対比する形で施設規模の圧縮案を示すのではなく、削減に向けて考えられる対応内容を記述するに止めてはどうか。
- (事務局)経費圧縮について具体的に検討した結果を基本構想に盛り込まないと、県民の理解が得られない恐れがある。個別の部屋の面積を示すのは基本案のみとし、どうしても削減が必要な時に考えられる対応を補足的に注記し、そうした努力により建築費が少なくとも10億円程度は「圧縮」できることを示す形(建築費は70~100億円(基本案)が60~90億円に圧縮される形)ではいかがか。(→異論なし)
- ・県民ギャラリーについて、面積を「0」にすると作らないように見えるので記載方法を再検討すべき。
- 県民ギャラリーに係る経費圧縮については、面積はそのままとして圧縮額(=合築整備に伴う地元負担額)のみを示す方法もあるが、地元負担の範囲が不明確な段階でそのような形とするのは避けた。ただ、候補地評価に係る不確定事項を調査する際には、その点も確認が必要な状況となったので、面積を「0」にしない表記方法を検討する。

##### 《美術館の整備検討に関する意識調査(案)》

- ・博物館から美術を出すことに関する質問(問6)は、今さら遡り過ぎではないか。
- ・必要性に関する質問(問7)が分かり難いという議会や知事の指摘は尤もだ。必要かどうかはつきり聞くべき。
- ・その場合でもイエス・ノーの2択は極端なので、「こうすれば整備に賛成」とか「多少は必要と思う」とか中間的な選択肢も幾つか用意すべき。
- ・問7の前に博物館や美術館に関する質問(博物館に行ったことがあるか、博物館の収蔵庫等が深刻な状況にあることや、美術館の新設が検討されていることを知っていたか 等)を追加

し、その上で美術館の必要性を聞くようにしてはどうか。

→今回の議会では、検討の前提に関わるような御意見も色々と頂戴しており、教育委員会としては、これに対する県民の考えを改めてお聞きしておく必要があると考えているので、問6は追加させてほしい。問7については、基本構想の内容についての質問(問8と問9)の後で、そのような内容の美術館を整備する必要があるかどうか、「多少は必要と思う」など中間的な選択肢も2～3提示してお聞きする形でどうか。この場合、博物館に行ったことがあるか、博物館の問題状況や美術館の新設検討について知っていたか等の質問を、調査票の前の方に設定することとしたい。(→異論なし)

・最後に自由記載欄を設けて色々な意見を聞くようにすべき。

→そのようにさせていただく。なお、県議会では今後もアンケートについて色々意見が出ると思う。それらにも可能な範囲で柔軟に対応したいので、本日の議論の趣旨に反しない範囲での調査票の修正については、会長にご一任いただきたい。

### 《特色づくり》

・本日提示された案には、これまでの議論が良く取りまとめであるが、非常に長い文章で分かり難い面もある。箇条書き等で分かり易く整理してほしい。  
→またもや時間がなくなってきたので、皆さんから具体的な修正案等を後で事務局に送ってほしい。それを反映した修正案を次回の委員会に提示させていただく。

### 《会場からの意見》

・自町が推薦した候補地が構想に如何に適合しているか説明したいので、その機会を設けてほしい。  
→不公平にならないよう他の推薦団体にも聞いた上でのごことにしたいが、委員の皆さんも了解のようなので、現地を視察して貰う際に機会を設けるようにしたい。  
・前回の委員会では、誘致条件の提案合戦を煽ることになるので、当初推薦の時に提案のあった条件以外は候補地評価で参酌しないとのことだったが、先ほどの説明だとそうはならないように聞いたが。  
→不確定事項を明確化すべく推薦市町と調整する過程では、どうしても追加的な要素が色々出てくると予想されるが、それらを全て排除しては不確定事項が確定できず、さりとて認めたり認めなかったりでは公平性が保てないので、事後提案も全て受け入れることとせざるを得なくなり、前回の方針を変更したもの。

### 《今後の進め方》

・アンケートは、本日の議論等を踏まえて修正した調査票を10/7の県議会常任委員会に報告の上、その翌週にも発送。  
・その結果が出たら、建設場所以外は基本構想の内容を固められる状況になる(圧縮案に関する整理や特色づくりに関する記述の最終案も確認して貰う)ので、次回委員会(11/4に予定)では、そこまでの内容での中間取りまとめ的なことをお願いする予定。  
・それまでに各委員には4つの候補地を視察。事務局は、推薦市町とも調整した上で不確定事項等を精査し、各候補地のメリット・デメリット等を整理した資料を作成。  
・次回委員会では、専門委員の出席も得て、これらを基に候補地についても議論。→候補地アンケートが未実施なので、候補地絞り込みは困難。  
・その後、県議会の意見も聞いた上で候補地アンケートを実施し、その結果により検討委員会でも候補地を絞り込み。→検討委員会の基本構想報告書を取りまとめ

鳥取県立美術館の運営費の見直し

収入

単位：千円

項目	現状 (H26)		基本案	圧縮案		試算の考え方
	県博全体	うち美術部門		第7回委員会提示	第8回委員会提示	
入館料収入	6,574	4,007	38,000	16,434	16,434	・入館料(企画展700円、常設展180円) ・有料入館者(企画展55%、常設展20%)
展示室使用料収入	699	699	7,000	0	0	
協賛金・雑入等	2,221	2,221	3,000	3,000	3,000	
一般財源	413,182	210,307	327,000	283,240	285,368	
美術品取得基金	24,172	24,172	25,000	25,000	25,000	
計	446,848	241,406	390,000	327,674	329,802	

支出

項目	現状 (H26)		基本案	圧縮案		試算の考え方
	県博全体	うち美術部門		第7回委員会提示	第8回委員会提示	
職員人件費	176,470	59,104	89,000	89,000	89,000	職員数 現状8名(課長1、美術担当6、総務担当1) ⇒12名(4名増:館長1、総務担当1、普及担当1、企画展担当1)
施設管理費	88,654	88,654	113,000	85,548	87,676	・現博物館運営費09,200円/㎡×新美術館9,530㎡
企画展覧会運営費	76,094	45,676	107,000	76,126	76,126	・企画展覧会開催数 現状3回⇒5回
常設展示運営費	16,168	8,000	20,000	16,000	16,000	・現博物館展示室500㎡⇒1,000㎡
教育普及事業	7,757	3,800	21,000	21,000	21,000	・ワークショップの充実、ファミリープログラム等の 新規取組及び県内在住児童の来館へのバス代助成
調査研究事業費	57,533	12,000	15,000	15,000	15,000	・美術担当(課長を含む)7名⇒9名(1.3倍)
美術品購入費	24,172	24,172	25,000	25,000	25,000	
計	446,848	241,406	390,000	327,674	329,802	

\*収入、支出とも山陰海岸学習館を除く決算額である。

# これまでの検討内容の整理

平成28年 月

鳥取県美術館整備基本構想検討委員会

## 第2章 基本的な考え方

### 1 美術館の必要性

我が国が人口減少時代へ移行する中であって、地方は、少子・高齢化の進展に伴う人口や活力の減少に悩まされ続けている。そうした状況に対し最近では、各地域に固有の自然風土や歴史文化を再評価し、独自の貴重なものとして内外に発信して地域再生に成功する事例が増えてきている。

これは、それらが地域社会のあり様を規定しつつ住民の心のより所となって、そのアイデンティティと密接に結び付いているからである。単純な右肩上がり成長の時代が終わり、価値観の変化・多様化が進む中で地域を再生し持続的に発展させていくためには、その中核として、これら地域の個性の源を維持・強化することが重要になる。

それにもかかわらず鳥取県の自然、歴史、文化の精華を蓄積・伝播する基幹施設たる県博は、県民の宝とも言うべき保存資料を次世代に引き継ぐことさえ困難になっている。この状況を抜本的に改善する最良の方策が、前記のとおり新たに美術館を整備し、現施設を自然・歴史博物館に改修することである以上、その推進は急務である。

そうした状況を踏まえれば、前章の2で述べたような方向を目指しつつ、次のとおり、鳥取県の美術遺産をきちんと次代に引き継ぐ一方で、県民が内外の優れた美術に触れる機会を増やして県外との交流を広げ、県民の文化的創造性と鳥取県の文化的な魅力を向上させる、人口減少時代における鳥取県創生の拠点として、県立美術館を早急に整備する必要がある。

#### (1) 鳥取県の美術の継承と発信

文化の精華である美術作品は、それが創作された場所と時代の、文化はもちろん自然や歴史、伝統、風俗等を色濃く反映し、今に伝える歴史遺産でもある。鳥取県に関わるこうした遺産を次代に確実に引き継いでいくことは、県民の義務であると同時に、前述のとおり県下各地域を再生・発展させていく上でも極めて重要である。鳥取県にゆかりのある美術の蓄積・継承を推進することより、鳥取県のアイデンティティを確立し、地域の個性を内外に発信していかなければならない。

そのようにして鳥取県の創生を図っていくためには、県下各地域で行われる同旨の取組と連携し、一緒になって芸術文化を振興していく必要がある。県内には、最早個々の市町村や地域社会では支えきれないほど深刻な文化状況にある地域もある。これらを広域的に補完し再生・発展させていくことは、鳥取県の文化基盤を強化し、文化的魅力を高める上で非常に重要であり、その中核となる県立美術館は欠かせない社会インフラの一つである。

#### (2) 内外の美術との接触と交流

ただ、そのようにして過去の文化遺産を維持・発展させていくだけでは、グローバル化が進み、様々な価値観がせめぎ合う情報社会の中で、地域の文化的魅力を高めるには不十分である。多彩な文化、優れた美術に触れることで、その素晴らしさを理解し受容する広い視野や柔軟な精神、新たな文化を創造し得る豊かな心を県民が培い、社会の文化的感性を向上させることができるようにしなければならない。

県民に、国内外の多彩な美術に触れる機会を提供し、それを生み出した様々な人や地域との交流を通じて、未来へと繋がる新たな文化の創造・発展を促す拠点を早急に整備する必要がある。これを核として、多様な文化があふれ心豊かに暮らせる地域を創り上げ、鳥取県の創生を図っていくのである。

### (3) 県民の創造性と鳥取県の魅力の向上

美術作品は、それを創作した者にとっては自らの創造力の発露であるが、鑑賞する者に対しても、感動を与えて精神を活性化し、新しいものを創り出させる力を持っている。これまで脈々と培われてきたそうした力を次代に伝え、未来を拓く新たな力へと昇華させて、県民の文化的創造性を高めていかなければならない。

そのためには、より多くの人々に文化の精華たる美術をもっと気楽に楽しんでもらえる場が必要であり、特に、次代を担う子どもたちが本物の美術と出会い、魂を揺さぶられて創造力を育むことができる空間は、是が非でも確保すべきである。

そこで幼い頃から美術に親しみ、高い芸術的感性を培った人々は、将来にわたって鳥取県の美術文化を支え、魅力を高めるのに貢献する人材へと成長していく。そんな風にして県民と協働し、県民に自分達の施設として支えて貰えるような美術館を、鳥取県は創り上げていかなければならない。

## 2 新しい美術館の目的

そうした認識に基づき、新たに整備される美術館を「人口減少時代における鳥取県創生の拠点」とするためには、次のような目的意識をもって、これを整備・運営していく必要がある。

- (1) 鳥取県にゆかりのある美術の蓄積・継承に努めるとともに、国内外の優れた美術を鑑賞・学習する機会を提供する。
- (2) 県民に、鳥取県の文化的個性を確認しつつ、多彩で良質な美術に親しんでもらうことにより、文化的な独創性・創造性を育む。
- (3) 鳥取県の文化的な個性や魅力を高め、様々な芸術、文化があふれ心豊かに暮らせる地域を創り上げる。
- (4) 美術を介して県内外の多くの人を引き付け、様々なヒト・モノ・コトを結び付けて、新たな交流と発展の核となる。

## 3 新しい美術館の在り方(イメージ)

そのような目的の下に整備・運営される美術館の在り方は、イメージとしては次のようなものとなる。

- (1) 鳥取県立博物館の美術部門の活動や成果を引き継ぎ、美術に関する収集保管、展示、調査研究、教育普及など美術館としての基本的な活動を県民ニーズに即した形で展開することで、県民が美術の素晴らしさを体感することができる社会教育施設。
- (2) 大人だけでなく子ども達も、美術の愛好者だけでなく一般の方も、様々な人々が気軽に訪れ美術を介して交流し、色々な団体や機関、個人が結集して主体的に参

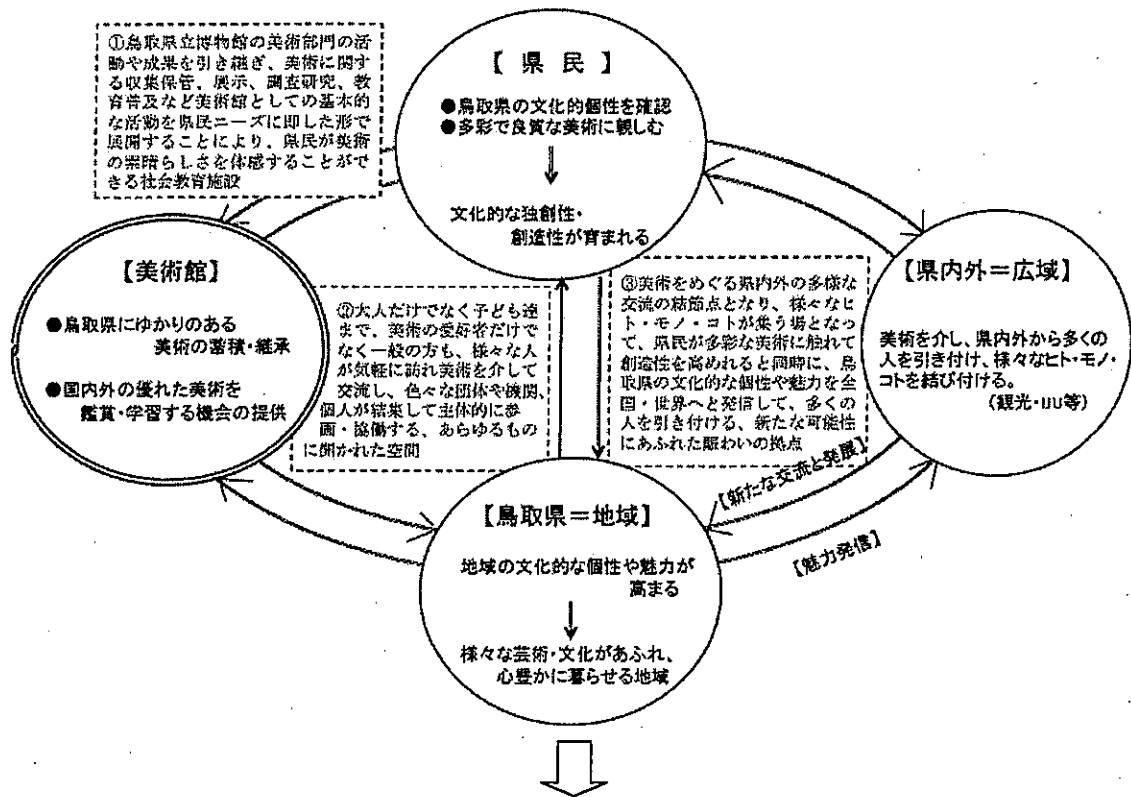
画・協働する、あらゆる者に開かれた空間。

(3) 美術をめぐる県内外の多様な交流の結節点となることで、多彩な美術に触れて創造性を高める機会を県民に提供しつつ、鳥取県の文化的な個性や魅力を全国・世界へと発信して多くの人を引き付ける、新たな可能性にあふれた賑わいの拠点。



郷土の美術（文化の精華）の継承と発信の力を高め、内外の多彩な美術（アート）に触れる機会を設け、人々が思い思いに楽しみと喜びを見出すことができ、次代を担う子どもたちには優れた美術と出会い、想像力や創造性を育む場となり、地域に根差し、地域と繋がって運営される、県民による、県民のための「県民立美術館」となり、アートによって街を目覚めさせて文化的感性の高い、賑わいのある地域づくりを進め、人口減少時代における鳥取県創生の拠点となるよう、従来の枠組みから大胆に踏み出し、次代に向けて新たな地平を拓くことを目指す

【図】新しい美術館の目的と在り方



郷土の美術（文化の精華）の継承と発信の力を高め、内外の多彩な美術（アート）に触れる機会を設け、人々が思い思いに楽しみと喜びを見出すことができ、次代を担う子どもたちには優れた美術と出会い、想像力や創造性を育む場となり、地域に根差し、地域と繋がって運営される、県民による、県民のための「県民立美術館」となり、アートによって街を目覚めさせて文化的感性の高い、賑わいのある地域づくりを進め、人口減少時代における鳥取県創生の拠点となるよう、従来の枠組みから大胆に踏み出し、次代に向けて新たな地平を拓くことを目指す



## 第9章 今後の進め方

### 1 今後の展開

#### 2 基本案と圧縮案の取扱い

元々この構想は、県民に新しく美術館を建設整備することについて考えていただくための基礎資料として、整備する場合の基本的な方向性を取りまとめるべく検討・作成したものである。従って、第4章に掲げた施設規模や建築工事費はもちろん第6章に掲げた運営費など(基本案)も、一定のモデルを想定して試算した想定値に過ぎない。あくまで、このような費用がかかることも含めて、美術館整備について理解して貰うための一つの目安であって、整備予算等のベースとなる計画値ではない。

そうした数値は、今後、建設場所が定まり整備計画や設計等の作業が進む過程で改めて精査・決定されていくことになるが、本委員会としては、建設場所さえ決まっていない段階で試算した本委員会の想定値が当該精査・決定の内容等を細かく制約できないのは当然としても、基本的な趣旨や考え方はこれに準拠されるべきだと考えている。それを可能とするためには、現段階で県財政に配慮等しておくことが当然必要であり、だからこそ第8章では、施設規模や建築費、利用見込みや運営費の圧縮についても検討したところである。

つまり本委員会としては、第2章の考え方に即して第3章に掲げる機能を十分備えた美術館を整備するためには、第4章の施設規模や建築費は見込んでおくべきだし、第6章に掲げるような形で運営されていくべきだと考えている。第8章で提示した施設規模や建築費、運営費等(圧縮案)は、後日の精査で本委員会が不可欠と考える部分まで削減等されることがないよう、やむを得ず圧縮を図る場合の方向性を示す意味で設定したものである。

従って、今後美術館の施設規模等を精査される際には、まずは圧縮案でなく基本案をベースに検討されたい。それで県財政に深刻な影響が生じる場合に、初めて圧縮案をベースに検討するようにしてほしい。この場合、圧縮案は例示的なものなので、実際には他にも色々な削減等の方法が検討されることになると思われる。そんな時も、圧縮案の考え方(第2章で示した考え方や第3章で提示した機能を(大きく)損なわないこと)は最大限に尊重されたい。

